

令和5年度金沢マラソン大学連携成果発表会  
令和6年3月23日(土)16:00~17:30  
金沢学生のまち市民交流館 交流ホール

# 優先出場枠がボランティアを活性化するか

2023大会ボランティア調査から

金沢大学スポーツ社会学研究室

高澤 大和 (地域創造学類 3年)

佐川 哲也 (地域創造学類 教授)

# 本報告のポイント

- (1) ボランティア参加者の属性を探る
- (2) 大会優先出場枠参加者の特徴を明らかにする
- (3) 大会優先出場枠参加者からのメッセージを明らかにする

## ボランティア調査とその標本数

2023大会				
ボランティア総数	4,903人	有効回収数		有効回収率
標本数	4,903人	908		18.5%

今大会は、団体参加者の回答が減少して、有効回収率が大幅に低下した。<sup>2</sup>

# 回答者全体の特徴

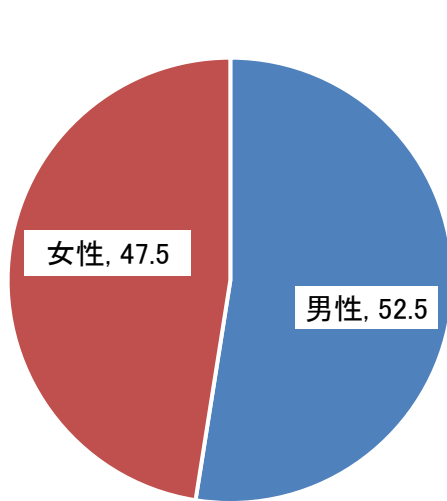


図1 性別

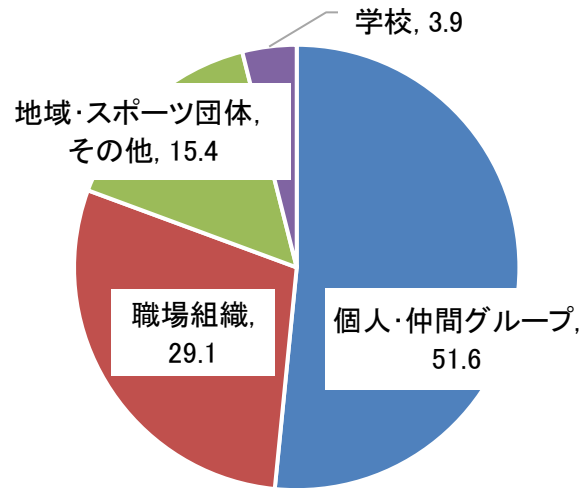


図2 集団属性

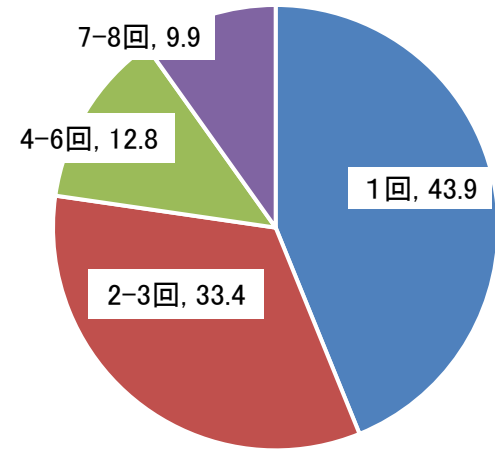
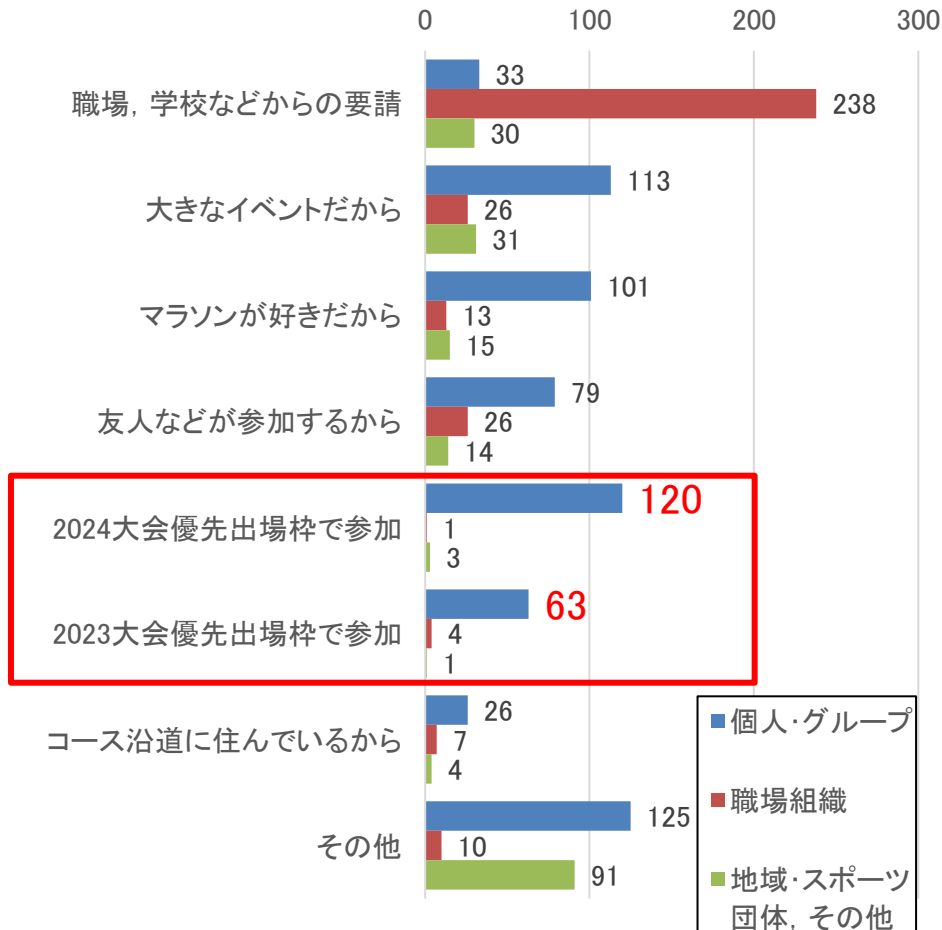


図3 参加回数

- 男女の比率は、男性が少し多い
- 個人・仲間 > 職場組織 > 地域・スポーツ団体 > 学校
- 1回が半数弱、2-3回が3割強、7-8回は約1割

# 属性別の参加者の特徴



個人・グループ ⇒ 多様なきっかけ  
 職場組織 ⇒ 組織からの要請  
 その他 ⇒ その他が多め

「2024大会優先出場枠」  
 ⇒ 個人 117名 定員200名

「2023大会優先出場枠」  
 ⇒ 個人 60名 定員100名

図4 属性別にみた参加のきっかけ（人，複数回答可）

# 優先出場枠者の特徴

ここから、出場優先枠者と一般参加者の比較分析を実施する

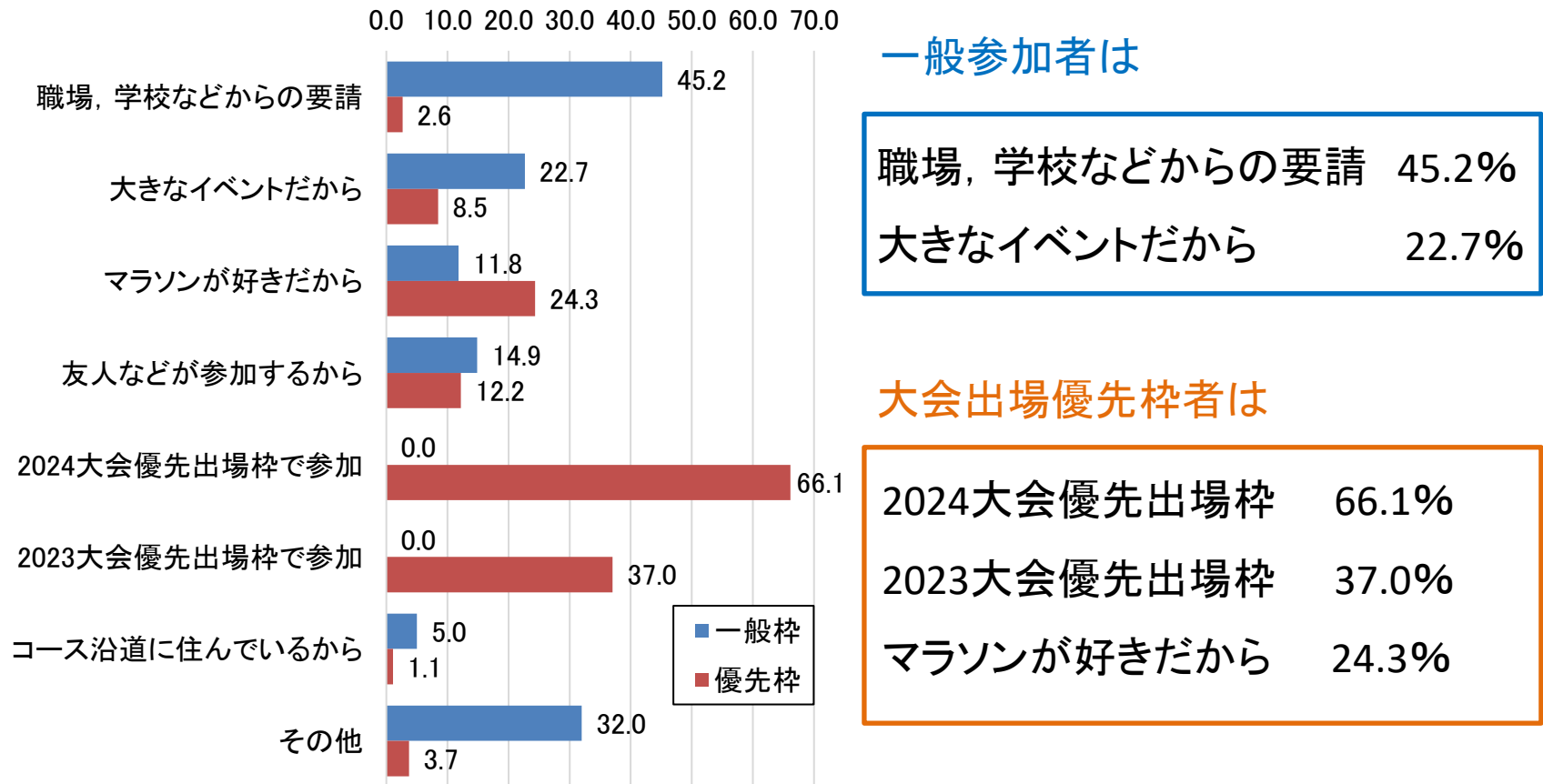
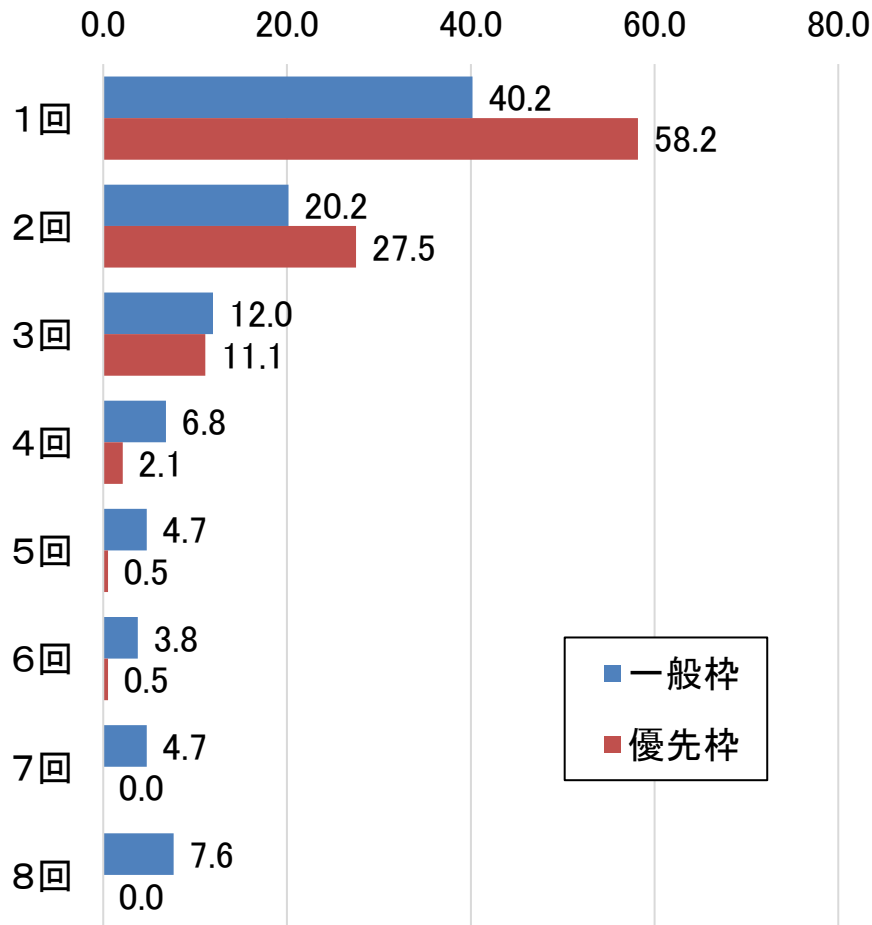


図5 優先枠者の参加のきっかけ（%, 複数回答可）

# 優先枠者は，初回参加者多数



優先枠は，

初(1回)参加が，約6割

1~2回が，約9割

6回参加者が最多

一般枠は，

初(1回)参加が，約4割

1~2回が，約6割

8回参加者が最多

図6 優先枠者の参加回数 (人，複数回答可)

# 優先枠者はマラソンへの期待度が高い

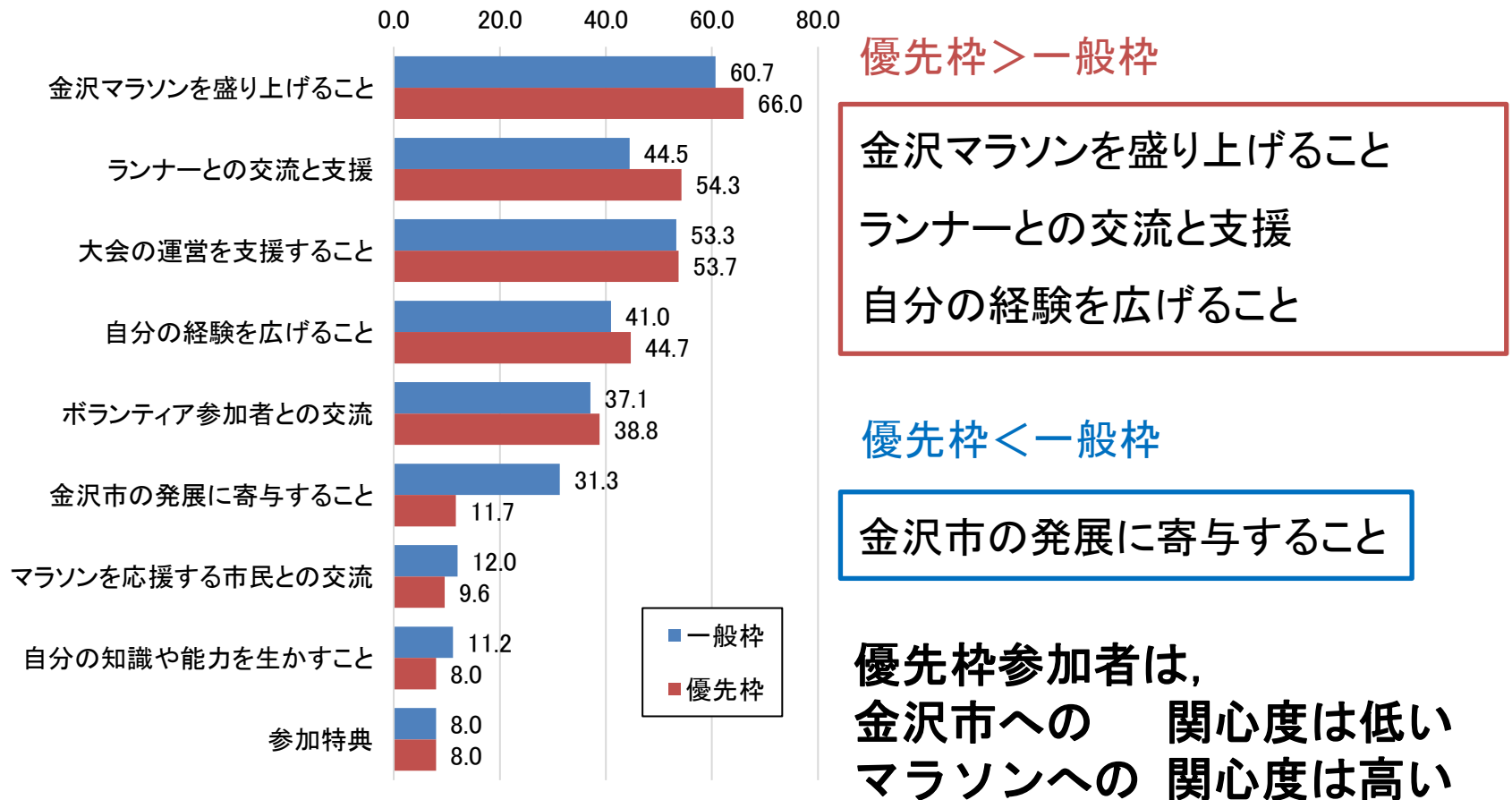
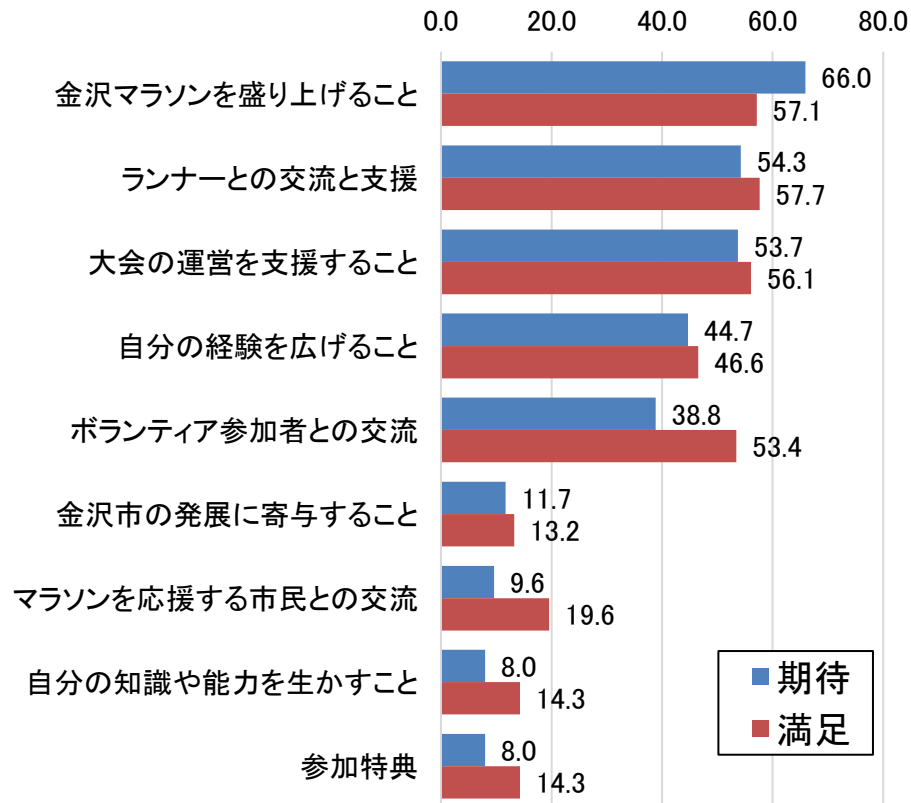


図7 優先枠者の期待（%，複数回答可）

# 優先枠者は金沢マラソンを盛り上げたい



期待 > 満足

金沢マラソンを盛り上げること

期待 < 満足

ボランティア参加者との交流  
マラソンを応援する市民との交流

ランナー経験者は、  
ボランティア同士の交流  
応援する市民との交流  
マラソンを応援する者を認識

図 8 優先枠者の期待と満足 (%、複数回答可)



# 優先枠者は、 マラソン情報、マラソン交流への関心が高い

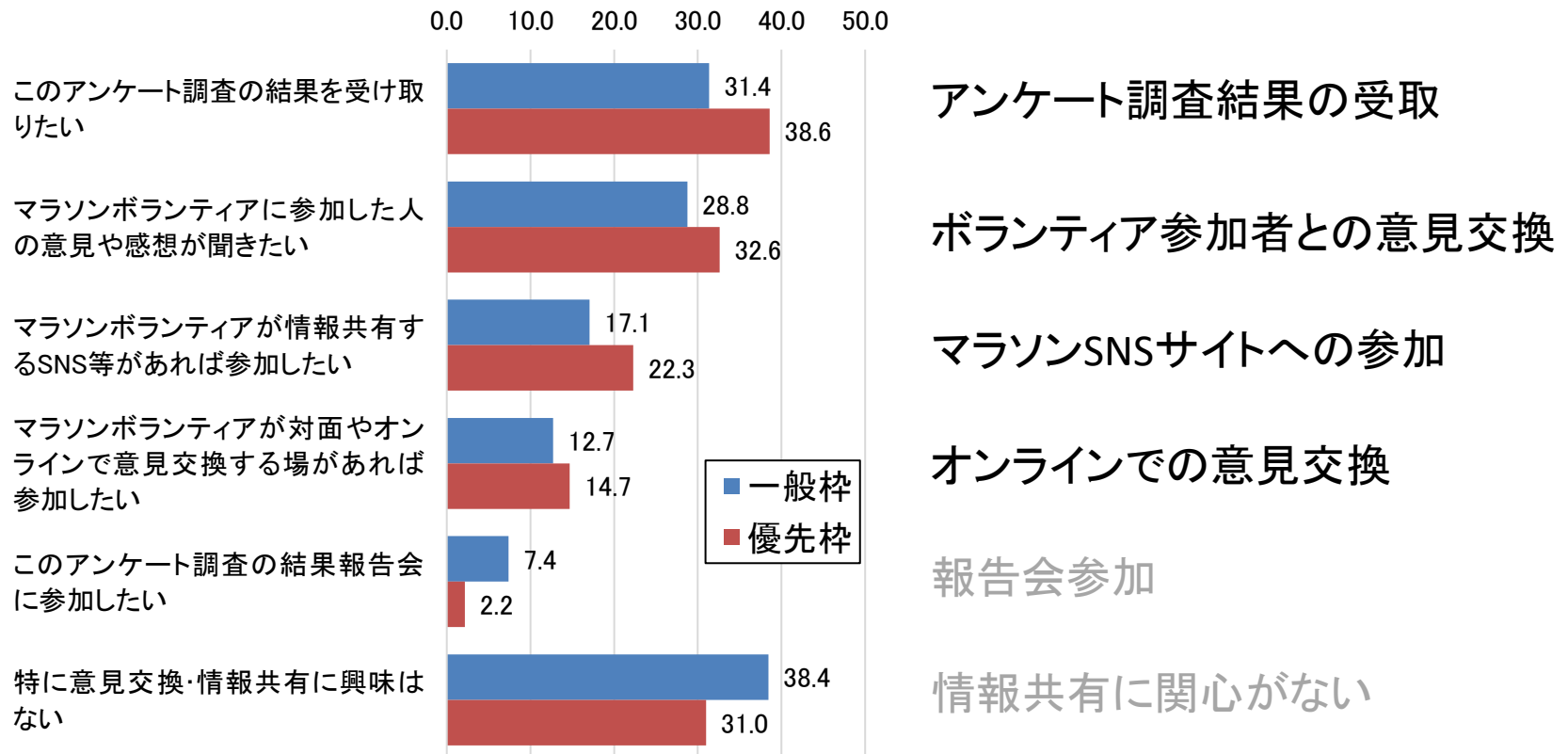


図9 優先枠者の情報や交流への期待（％，複数回答可）

# 次回大会はランナーとして参加

ランナーの視点を持ったボランティアが増加し、  
継続して参加することで、  
ボランティア数が確保され、質が向上する。

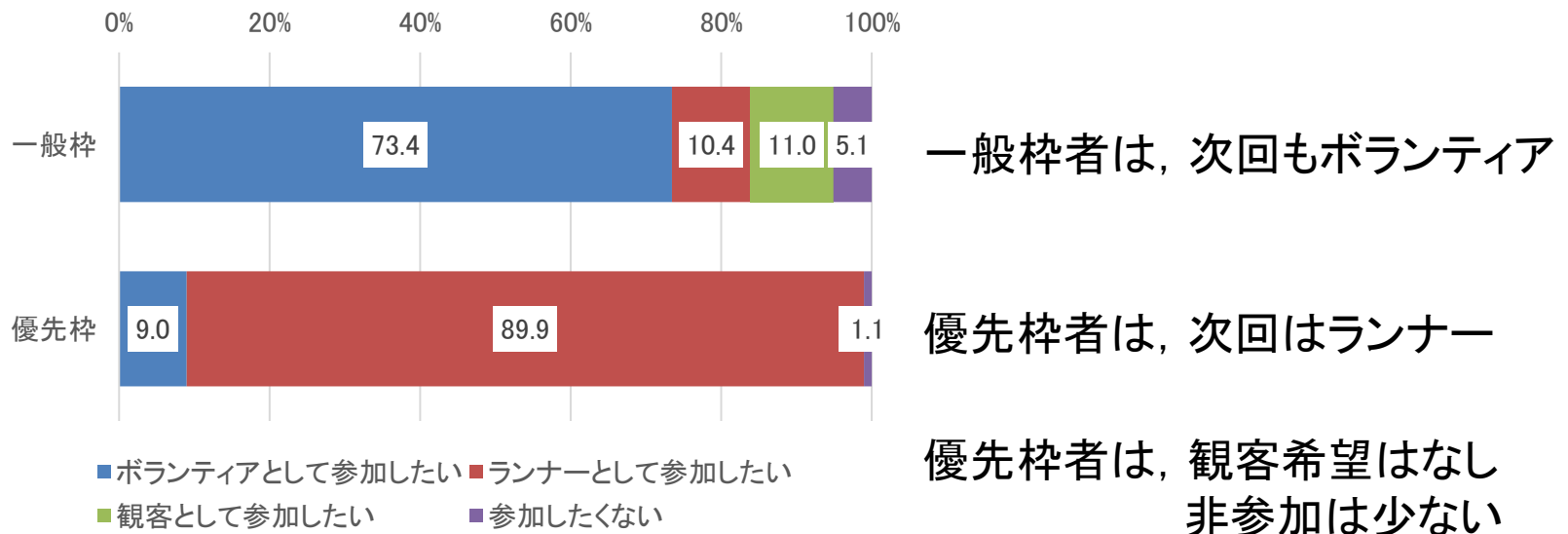


図10 次回大会への参加意向（%，複数回答可）

# 優先枠者から、次回ボランティアへのメッセージ

- ランナーは、ボランティアさんに感謝しています。
- ランナーは、スタッフジャンパーを着ている人に支えられています。
- ボランティアのお陰で、ランナーは金沢マラソンを最高の大会と感じています。
- ランナーは、走ってる時は余裕がなく表せないけど、感謝して走っているので、笑顔で応えてください。
- ラスト数キロでの励ましが本当にありがたいので、是非エールを送ってください。

## 大会優先出場ボランティアが年々増加している

その特徴は、

- ◆ ランナー経験があり、金沢マラソンを走りたい
- ◆ マラソン好きであり、マラソンを盛り上げたい
- ◆ ボランティアの「ありがたさ」を感じている
- ◆ マラソンの情報共有や意見交換を重視している

今後、ランナー経験ボランティアの増加が予想される

- ▶▶▶ランナー経験に基づいたボランティアの拡大
- ▶▶▶ランナーとボランティア、応援者の交流拡大

**ボランティアの質的向上に向けた方策に期待する！**

ご清聴ありがとうございました



ボランティアの皆様お疲れさまでした！